


題材	I ふしぎな世界 -鑑賞-			4月(2時間)
目標	想像の世界を表した絵に関心を持ち、形や色、配置等の観点から捉えたことをどうし結び付けながら見る。			
評価規準	(①知・技)かかっている対象の形や色、それらの組み合わせによる造形的な特徴を理解できる。 (②思・判・表)形や色、配置等の観点どうしを結び付けながら作品のよさを捉える。 (③主体的態度)想像の世界を表した絵を見ることに関心を持ち、進んで絵の世界を考えようとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○ダヴィンチ、ロスコ、ポロックなどの抽象絵画を鑑賞し、表されているものや気付いた色や形の特徴を基に絵に表された世界を話し合う。	○部分を詳しく見られるように、表されているものや不思議に思うところ等の観点を問いかける。	◇自分なりに捉えたことを学習プリントに書いたり、観点に基づいて自分なりに気付いたことや感じたことを発表したりしている。 <行動・学習プリント③>
あらわす・ひろげる	1	○作品をグループごとに見て、捉えたことを結び付けながら、絵に表された世界を話し合う。 ・表されているものや不思議に思うところを書く活動を設定する。 ・理由とともに絵に表された世界について話し合う活動を設定する。 ・鑑賞を通して感じ取ったことを学習プリントに表し、発表し合う。	○見つけたものを手がかりにして、それぞれを結び付けながら考えられるようにするために、前時の学習をまとめた資料を提示する。	◇表されているものの様子から捉えたことどうしを結び付け、絵に表された世界の理由として発言している。 <行動・学習プリント①②③>
共通事項	想像の世界を表した絵を見たり、よさを話し合ったりする活動を通して、画面に表されたものや構図、配色等の造形的な特徴を捉え、自分のイメージをもつ。			




題材	2 だれも知らない不思議な世界 -絵に表す-			4・5月(8時間)
目標	吹き流しやマーブリング、スパッタリング等の表現技法を試し、それらの表現技法の生かし方や画面の構成を工夫して、自分が不思議な世界を旅している様子を絵に表す。			
評価規準	(①知・技) 描画用具や工作用具の扱い方を工夫して表している。 (②思・判・表) 写真や表現技法の効果的な活用した画面構成を考えている。 (③主体的態度) 空想の世界を表すことに興味をもって意欲的に表現しようとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	2	○吹き流しやマーブリング、スパッタリングの技法を知り、誰も知らない不思議な世界を表すことへの見通しをもつ。 ○自分が思い付いた、誰も知らない不思議な世界を、アイデアスケッチに表す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習のめあて 技法を工夫して、だれも知らない不思議な世界を表そう </div>	○表現技法の生かし方や画面の構成を工夫できるように、それぞれの技法体験に必要な用具を複数用意しておく。 ○発想から構想の流れがつかめるようにするために、いくつかの発想例を例示する。	◇マーブリングやスパッタリング等様々な表現技法に興味をもち、試しの活動に取り組んでいる。<行動③> ◇様々な表現技法を使う部分や画面全体のバランスを考えてアイデアスケッチをかいている。<アイデアスケッチ②>
・あひらわげする	5	○自分が表したい、誰も知らない不思議な世界に合う表し方(絵の具のにじみやパスのぼかし、吹き流し、マーブリング、スパッタリング、擦り出し、絵の具のはじき飛ばし、スタンプ、様々な材料の貼り付け等の表現技法の他、用紙の形を変える、穴を開ける、扉を付ける等の、描写にとられない表現方法)を、試しながら表す。	○描画用具や工作用具の扱い方を工夫して表すことができるように、技法や材料の表現への生かし方を例示したり、工夫している子どもの表現を紹介したりする。	◇表したい世界に合った表現技法の使い方を考えて表している。<行動・作品①>
かふえりる	1	○作品を見合い、発想の面白さや表し方の工夫を見付けて伝え合う。	○発想の楽しさや表し方の工夫に気付けるように、振り返りの記述を共有し、自由に見合える環境を設定する。	◇発想の面白さや使い方、表現技法の工夫に気づき、振り返りに表している。<振り返り③>
共通事項	様々な表現技法を生かして空想の世界をかく活動を通して、様々な表現技法のもつ形や色等の面白さ、特徴や特性等を捉え、自分のイメージをもつ。			



図画工作科 5年






題材	3 こねこねんど -立体に表す-			6月(4時間)
目標	板状にした粘土の組合せを工夫し、用具等を適切に扱ったり、どべで丈夫に接着したりして成形し、つくりたい形を粘土でつくる。			
評価 規準	(①知・技)手や粘土べら、身近な材料の扱い方を工夫したり、どべを使って丈夫に接着したりしている。 (②思・判・表)板状にした粘土を生かして表すものを考えたり、組合せを工夫したりしている。 (③主体的態度)粘土の感触を味わいながら、進んで表現しようとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○たたら板と丸棒を使って粘土の板をつくる方法を知り、表したい土器について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習のめあて 粘土の板を生かして、自分だけの土器をつくらう </div>	○板粘土のつくり方や粘土の切り取り方が理解できるように、たたら板や糸、切り針の使い方を演示する。	◇ たたら板と丸棒を使って粘土の板をつくる方法に興味をもち、板粘土をつくる活動に取り組んでいる。 <振り返り①>
あら わす ・ひ ろげ る	2	○粘土の板から好きな形を切り取り、切り取った形を曲げたり、立てたり、筒をつくったりして立体にして、いろいろな角度から見ながら、イメージしたものをつくる。 <次のようなことをして、イメージに近づけていく。> 立体にした形を切り針や型抜きで切り抜く。 へらや竹串、型押しで模様を付ける。 粘土をつまみ出したり、どべでくっつけたりして飾りを付ける。	○手や粘土べら、身近な材料の扱い方を工夫できるように、道具を活用した飾りの部分のつくりかたを具体的に演示する。 	◇ 自分なりの切り方や曲げ方、形の組合せ方を加えたり、どべによる接着を行いながら、道具の使い方を工夫してイメージしたものの形に近づけたりしている。 <行動・作品②>
ふり か え る	1	○焼成した作品を見合い、楽しさや工夫を見付け合う。	○形や飾りのつくり方の工夫に気付けるように、振り返りの記述を共有し、自由に見合える環境を設定する。	◇ 形や飾りの工夫について気付いたことを発表したり鑑賞カードに記述したりしている。 <行動・振り返り③>
共通事項	土の塊を板状に伸ばしたりつなげたりする感覚や活動を通して、全体の形や模様等の感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	4 ジョイントパイプ -造形遊びをする-			7月(4時間)
目標	空間の様子を基に、継手やパイプをつなぐ活動を通して、継手の種類や組み合わせる順番、パイプをつなぐ長さや角度を工夫し、空間の奥行きや広がりを理解するとともに、活動を楽しむことができる。			
評価規準	(①知・技) 継手やパイプをつなぐ活動を基に、継手の種類や組み合わせる順番、パイプをつなぐ長さや角度を工夫したり、空間の奥行きや広がりを理解したりしている。 (②思・判・表) 継手やパイプをつなぐ活動を基に、継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を試し、自己のイメージや思いをもって活動を考えている。 (③主体的態度) 継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を試しながら、構造や活動をつくりだすことや、構造や活動からよさや美しさを感じ取ることを楽しもうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○試しに継手やパイプをつなぐ活動を通して、活動のイメージや思いをもつ。 学習のめあて 教室の空間を生かして、継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を工夫しながら、パイプをつなげることを楽しもう	○継手やパイプをつないでできる構造や活動へのイメージや思いがもてるように、継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を試す機会を設定する。	◇継手の種類や組み合わせる順番、パイプをつなぐ長さや角度を繰り返し試したり、イメージや思いについて記述したりしている。 <行動・振り返り②>
あらかわす・ひろげる	2	○継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を工夫してパイプをつなぎ、構造や活動をつくる。	○継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を試しながら活動に取り組めるように、継手やパイプを十分に用意する。	◇継手の種類や組み合わせる順番、パイプをつなぐ長さや角度を変えながら構造や活動をつくったり、構造や活動を基に自分のイメージを記述したりしている。 <行動・振り返り①②③>
ふりかえる	1	○つないだパイプの構造や活動を鑑賞する。	○自他の構造や活動からよさや美しさを自覚できるように、活動に取り組む中で、記録した構造や活動の静止画や動画、振り返りの記述を共有し、自由に見合える環境を設定する。	◇鑑賞した自他の構造や活動の継手の組合せ方、パイプのつなぎ方や構造の感じから、自己のイメージや思いを記述している。 <振り返り③>
共通事項	継手の組合せ方やパイプのつなぎ方を工夫してできる構造を、空間の奥行きや広がりの視点で捉え、自分のイメージや思いをもち、構造や活動をつくりだすこと。			

題材	5 板を切りぬいて -工作に表す-			8・9・10月(12時間)
目標	板を輪状に切りぬいてできる様々な形や色の組合せを考え、電動糸鋸の扱い方を工夫して、つるすオブジェをつくる。			
評価 規準	(①知・技) 電動糸鋸を適切に扱って表し、形や色の組合せの面白さや、全体の構成の工夫に気付く。 (②思・判・表) オブジェのテーマを考え、板を切りぬいてできる形や色の組合せを工夫する。 (③主体的態度) 輪状に切りぬいた木片を組み合わせてできるオブジェづくりに関心を持ち、意欲的に表現しようとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	2	○電動糸鋸で一枚の板を切ってきた複数の輪状の木片を組み合わせて、つるすオブジェをつくることを知る。 ○自分の表すことを決め、構成を考える。 学習のめあて 板の切り方や組合せ方、色のぬり方を工夫して、学校が明るくなるモビールつくろう	○つくる方法やつくる活動に見通しをもてるように、参考作品を提示する。 ○具体的な画面の構成ができるように、紙で試しにつくる機会を設定する。	◇輪状に切りぬいてできた板を使って、つるすオブジェをつくる方法や、つくる活動に興味をもっている。<行動③> ◇輪状の木片の外側と内側の形や、木片同士の形に関連をもたせてつくっている。 <振り返り②>
あら わす・ ひろ げる	5 4	○電動糸のこぎりの扱い方を知り、板を切り分ける。 ○絵の具で彩色し、ニスを塗り、糸とフックをつけて作品を完成させる。 	○電動糸のこぎりを安全に正しく扱えるように、電動糸鋸を扱う際には、顔や指を近付けすぎないこと、板を両手で押しながら切ることなどを演示する。 ○テーマに合うような色の組合せを考えられるように、色から受ける感じや、色の組合せによる感じを整理する機会を設定する。	◇電動糸鋸を安全に気を付けて正しく扱いながら、大まかに木取りの線に沿って切り取っている。 <行動・作品①> ◇テーマに合うように色の組合せを決めている。 <行動・作品②>
ふり か え る	1	○作品を鑑賞し、面白さや工夫について伝え合う。	○形の組合せ、色の組合せなどの面白さや工夫に気付けるように、図工室の壁や2階渡り廊下などに、作品を並べて展示できる環境を設定する。	◇形の組合せや色の塗り方の工夫について、鑑賞カードに記述している。 <鑑賞カード③>
共通事項	電動糸のこぎりで板を切り抜く活動を通して、板の形や切り抜いた空間の感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

図画工作科 5年

題材	6 ハリガネアーキテクチャ -立体に表す-			11・12月(8時間)
目標	針金の組み方や曲げ方を工夫して、建物の模型をつくる			
評価 規準	(①知・技) 針金とペンチの扱い方を正しく理解し、針金を、切る、曲げる、伸ばす、ねじるの基本的な使い分けができる。 (②思・判・表) 模型の構造に必要な針金の組み方と、自身のテーマに必要な針金の組み方を工夫して表している。 (③主体的態度) 建築物の構造に関心を持ち、意欲的に表現しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1 1	○針金を使って建築物の模型を作ることを知る。 ○つくりたい建築物の主題を決め、構成を考える。 学習のめあて 針金の加工を工夫して、構造物をつくろう	○つくる活動に見通しがもてるように、実際の建築物の構造が分かるスライドを提示する。 ○構成のイメージが広がるように、ユニット(部分)とユニットの組み合わせ(全体)の両方をかける学習プリントを用意する。	◇参考作品から得たイメージを発言している。 <行動③> ◇模型を支えるのに必要な構造と、自身のテーマを表すのに必要な構造をかけている。 <学習プリント②>
あ ら わ す ・ ひ ろ げ る	4 1	○針金とペンチの扱い方を知り、針金で建築物の模型をつくる。 ○自身の主題に合うように作品を仕上げる。	○ペンチを使い、主題に合った針金の組み方ができるように、基本的な使い方の他に、組み方を例示する。 ○針金を使って自身の主題を表せるように、「建てる場所」、「建てる目的」という視点を提示する。	◇針金を、切る、曲げる、伸ばす、ねじるの基本的な使い分けができる。 <行動・作品①> ◇模型の構造上必要な針金の組み方の他に、主題を表すために必要な針金の組み方を工夫している。 <作品②>
ふ り か え る	1	○作品を鑑賞し合い、工夫を見つけ合う。	○多くの作品の工夫に気付けるように、複数の作品の工夫を書き込める鑑賞カードを用意する。	◇3つ以上の作品の工夫を鑑賞カードに記入している。 <鑑賞カード③>
共通事項	針金一つ一つの組み方と、それらを組み合わせた立体的な形から空間を捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	7 風 見える化大作戦 -造形遊びをする-			1月(6時間)
目標	風を感じる場所の特徴から、風を受けて動く仕組みを考え、場所に合った材料を使って活動する。			
評価 規準	(①知・技) 風の向きや強さなどに合わせて、扱う材料や動く仕組みを工夫して表し、風の力を利用してできた表現の面白さや工夫に気付く。 (②思・判・表) 風を感じる場所の特徴を生かし、風を受けて動く仕組みや扱う材料、色などを考える。 (③主体的態度) 校内の風を感じる場所の特徴を生かした造形表現活動に、協力しながら楽しく取り組もうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	2	○風を目に見えるようにする活動について知り、紙やスズランテープ、ビニル袋などを使って、校内の風を感じる場所を探す。 学習のめあて いろいろな材料を使って、風の力で動く仕組みをつくって楽しもう	○学習の見通しをもつことができるよう、風によって動きをつくることできる紙やスズランテープ、ビニル袋などを紹介する。	◇風を目に見えるようにする活動に興味をもち、校内の風を感じる場所を探している。 <行動③>
あら わす ・ひ ろげ る	1 2	○風を感じる場所を紹介し合い、活動したい場所ごとにグループをつくり、試したい材料や表し方を話し合っ  てイメージを共有する。 ○スズランテープや紙を結び付けるなど風を感じる場所  のでできる表現に取り組む。	○風を可視化する具体的な方法を思い付くことができるよう、風を感じる場所  に実際に行き、紹介し合う活動を設定する。 ○材料・用具を適切に扱いながら自分なりに工夫してつくれるよう、試作品をつくって風を感じる場所  で風を可視化できるか試す活動を設定する。	◇それぞれの場所  でできる表現を考え、イメージを共有している。 <行動・学習プリント①> ◇風の向きや強さなどに合わせて、材料などを付ける数を変えながら表現している。 <行動・作品②>
ふり か え る	1	○表現を見合い、楽しさや工夫を見付け合う。	○発想の面白さや表し方の工夫、表現の巧みさなどに気付くことができるよう、各グループの表現を見合う活動を設定する。	◇風の力を利用してできた表現のおもしろさについて、発表したり、学習プリントに記述したりしている。 <行動・学習プリント①>
共通事項	材料(紙やすずらんテープ、ビニル袋など)を使って風に働きかける感覚や活動を通して、変化や動きの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	8 present for you -立体に表す・工作に表す-			2・3月(6時間)
目標	レジンフラワーを製作する活動を通して、花弁や葉の形や色などと、それらの組み合わせを工夫して、自分の表したい花を表現できる。			
評価 規準	(①知・技) 表したい花弁や葉、それらを組み合わせて表した花のよさや美しさに気付いたり、自分が表したい花へのイメージや思いを基に、花弁や葉の形や色、それらの組合せなどの花の表し方を工夫したりしている。 (②思・判・表) 表したい花に向けて、花弁や葉の形や色、それらの組合せを基に表し方を考える。 (③主体的態度) 花弁や葉の形、ディップ液の色、それらの組合せの視点を基に表したい花を製作することや鑑賞することを楽しもうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○人に花を贈る場面を想起し、思いを伝えるための花を製作することや製作の方法を知る。 学習のめあて 花びらの枚数や大きさ、色の組合せを工夫して、家族が喜ぶ花のプレゼントをつくろう	○活動への見通しをもてるよう、過年度の参考作品を提示したり、花弁のつくり方を演示したりする機会を設定する。	◇ レジンフラワーのよさや美しさについて発言している。 <行動③>
あら わす ・ ひろ げる	1 4	○表したい花のイメージや思いに適した花弁や葉の形、ディップ液の色や、花言葉などを考えながら、アイデアスケッチをしたり、試しに花弁や葉をつくったりする。 ○自分の表したい花を製作する。	○表したい花に合わせて、使う材料や表現方法を思い付けるよう、完成のイメージをアイデアスケッチする機会や、試しに花弁や葉をつくったりできる環境を設定する。 ○つくりたいものに合わせて、材料や用具を正しく扱えるように、試しの活動を設定する。	◇ 表したい花に合わせて、使う材料や表現方法について発言したり、アイデアスケッチに表したりしている。 <学習プリント②・発言> ◇ アイデアスケッチを基に、つくりたい食べ物にそっくりになるような形や色を考え、材料や用具を正しく扱いながら表現している。 <行動・作品①>
ふり か え る		○完成した作品を互いに鑑賞する。	○工夫された花弁や葉の形や色、それらの組合せについて気付けるよう、互いの作品を見合う機会を設定する。	◇ 花弁や葉の形や色、それらの組合せのよさや美しさに気づき、鑑賞カードに記述している。 <行動・鑑賞カード①>
共通事項	レジンフラワーを製作する活動を通して、花弁や葉の形や色などと、それらの組み合わせによって表される花のよさや美しさを捉え、自分のイメージをもつ。			